

特集 若手後継者が語る「りんくう栽培に向けた展望」

町政スポット 町農畜対策本部設置 賀田剛正

公表した町職員給与と定員の管理 田中

まちの話題 創設館開館50周年記念 野村方蔵の谷津を公演

スノーボードプロシアー 朝日自然観YTS杯 ほか

プロボーダーのダイナミックな技に興奮

スノーボードプロシアー 朝日自然観YTS杯

(2月8～11日：朝日自然観スノーパーク)



あさひまち

広報

2006年2月号
No. 591



◎座談会参加者

生産者代表 菅井誠吾さん（沼 向）
 “ 佐藤祐市さん（宿 ）
 “ 志藤宜徳さん（川 通）
 “ 阿部隆浩さん（夏 草）
 司会（町広報委員）村山茂雄さん（大谷七）
 町産業振興課主査兼農政係長 三浦浩一



司会（町広報委員）
 村山茂雄さん（大谷七）
 粧坂果樹組合

司会 今後の展望を語っていただく前に、それぞれりんご栽培の現状をどのように捉えているか、お話をいただければ

**市場価格（平均単価）が
ピーク時の半分まで…**

りんご栽培に向けた展望 今こそ晩生種 ふじから中生種への転換へ

特集●若手後継者が語る

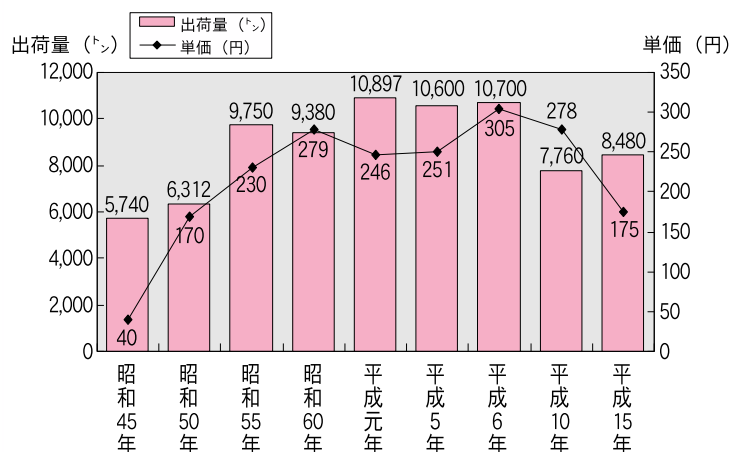
町の中央を南北に流れる最上川。その兩岸に広がる河岸段丘は、農作物の栽培に適した肥沃な土地として利用され、先人たちによる計画的な果樹振興策と栽培農家の熱心な研究により、全国に先がけた「無袋ふじ」の産地として、名実ともに日本一の地位を確立してきました。

しかし近年、市場価格の低迷などの影響で、生産者は厳しい経営に直面しています。

今回の特集では、品種改良に向けた新たな取り組みなど、今後の経営戦略や展望について、町のりんご生産業界を率いる若手後継者たちから語っていただきます。

と思います。
 阿部 りんごの価格低迷が懸念されている昨今。実際に、市場価格はどのように推移しているのでしょうか。
 三浦 市場価格のおおよそのピークを平成六年辺りと捉えています。町全体の出荷量が約一万トンあった年で、当時の平均単価は三百五十円でした。それが、平成十五年の出荷量は約八千トン。単価も百七十五円まで落ちています（図1）。一昨年については、台風によ

(図1) 町産りんごの総出荷量と平均単価の推移



「産地直送」へ、あるいは「生産者直送」と変わってきているのを感じます。より新鮮なものをより安くという消費者ニーズの行き着くところは、やはり安心と信頼。これまで以上に、生産者への目はよくなり、厳しいものになっていく

ことでしょう。
阿部 急速に情報化が進む中で、インターネットによるネット販売も視野に入れておかなければなりません。卸業者へのマージンなどを考えれば、わざわざ小売店に足を運んでまで買い求める必要がないわけですからね。そして何より、生産者に直接発注すれば、より安全で安心なものを家に居ながらにして購入できるというのも、消費者にとっては魅力なのかもしれません。
菅井 私は、国内消費量の低下を最も危惧しています。それに加えて、後継者問題と品質の低下という問題を抱えている朝日町の場合、消費者が欲しいが、りんごを的確に供給できなくなっている現状にあります。
志藤 消費者の消費動向にも注目すべきです。消費者が今必要としているのは一箱ではなく、一〜二個の世界。これまでの箱単位による購入から個数単位での購入へと移行しています。果物の種類も豊富な中で、少しずついろんな物を食べたいという消費動向も認識しておく必要があります。



特別栽培農家
菅井誠吾さん(沼向)
和合果樹組合

平成三年、台風19号に見舞われた青森県。結論から先に言えば、彼らはこれをまさに千載一遇のチャンスと捉えて、もののみごとに「わい台」に切り替えました。普通樹の場合だと十五〜二十年のスパンで考えなければならぬのが、わい台だとその半分の期間で収入に結び付けられるのです。収穫量も倍を見込めるという

これからの主流は中生種
わい台への切り替えを！

のが魅力です。
志藤 長年「ぶし」一辺倒だった山形は、今になりようやく中生種に躍起となり頑張っています。が、ちよつと出遅れたかなという感が否めません。でも、「山園A-1」などの新品種が出てきて活気付けばと期待を寄せています。
司会 朝日町でわい台の技術がきちんと確立されていない。そういった問題は確かにあると思います。品種更新の際には随時、わい台を念頭に置いた形で進めていくことが必要だということですね。

る被害もあったので、若干単価が上がった年だったと思います。まだ明確なデータは公表されていませんが、昨年はやはり単価が下がり、二百〜二百二十円くらいだったのではないかと思います。
志藤 しかし、長野産のキロ単価は、とても高いというイメージがあります。事実、価格の低下などは、さほどないようです。それに比べて山形産や青森産は、大幅に下がっています。これも価格が低迷



佐藤祐市さん(宿)
センターりんご組合

し収益が得られないと、がんばろう！という気持ちにさえならないというのが本音。それに生産者の高齢化と、今シーズンのような豪雪という要件が重なればなおさらです。

司会 品質の低下という話がありました。生産者の高齢化などに伴って、今後益々この傾向は進んでいくのでしょうか。
菅井 それら以上に「りんごの樹の高齢化」が、最も影響しているもの、私は思います。改植の方針が定まっています。それが一番大きな原因です。

用語の解説

(※1) わい台

りんごの樹を今までよりも低く小さく栽培する時に使用する台木。わい化栽培は、普通樹に比べ着色が良好で糖

度も高く、熟度も早まると言われている。

(※2) 山園A-1

中生種用に山形県が初めて開発した品種。「シナノスイート」に継ぐ新品種として期待が高い。

菅井 わい台の導入で「もうひと勝負だ！」と苗木を作っている七十代の人々が、現に青森にいらるといのに驚きました。それに加えて青森のすこいところは、全て系統の選抜をしているというところです。

山形の場合、特に「ふじ」のわい台で技術を確立できなかったのは大きいです。しかし、これからも良いわい化の台木が入ってくるということなので、特に若い人たちは切り替えていくべきだと思います。

佐藤 わい台に切り替える際、助成制度などはないのですか。
三浦 国の補助事業にありません。また、県単独事業で品種更新あるいは改植のための補助事業もあります。

小売店ニーズの把握 認知度Ⅱ市場の評価

司会 消費者のニーズに合っていないという指摘もありましたが、長野の単価が下がっていないということは、少なくともそのニーズを的確に捉えた生産をしているというように考えていいのでしょうか。

佐藤 消費者ニーズというよりも小売店ニーズという感じが強いですね。小売店が店頭で、長野はそのニーズに的確に並べる時期とか量とかがあつて、長野はそのニーズに的確に並べられているのではないかと思います。

志藤 消費者ニーズとしては、安くて美味しいのが当たり前。しかし、それだけでもないような気がします。やはり消費者それぞれの価値観で大きく変わってくることで、まずは「朝日町のりんご」を認知してもらうことが必要なのではないでしょうか。



阿部隆浩さん(夏草)
センターりんご組合

阿部 そのためには、PR戦に負けないことも大事なことです。テレビなどのメディアを使った宣伝。昨年あるテレビ番組に、シナノスイートが高級食材として出ていました。しかし、残念なことに長野県の名前で出ていました。正直「あー、先越されたな」という感じですね。

町内の果樹組合(7組合)の概要

①組合長名(集落名) ②組合員数 ③設立時期

古楨果樹組合

①清野正男(古 楨) ②21人 ③昭和23年

粧坂果樹組合

①村山征一(大谷七) ②8人 ③昭和23年

和合果樹組合

①鈴木勝昭(沼 向) ②39人 ③昭和25年

大谷果樹組合

①志藤正紀(川 通) ②6人 ③昭和35年

明神山果樹組合

①志藤信勝(川 通) ②14人 ③昭和41年

朝日町センターりんご組合

①井澤寿一(夏 草) ②277人 ③昭和50年

大沼果樹組合

①小林晴雄(大 沼) ②11人 ③昭和53年



志藤宜徳さん(川通)
大谷果樹組合

三浦 朝日町のりんごを消費者に認知してもらうためには、やはり市場における評価を高めていく必要があります。そこで、贈答用への対応についてです。高値で売れる贈答用は、即収入につながり魅力的なものが、だからと言って、良いものを全て贈答用に流し、それより質の低いものを市場に出してしまえばどうなるでしょう。贈答用にも影響を及ぼす心配があるし、町全体のりんごの評価を下げてしまいます。その辺の出荷バランスも重要になってくるのではないかと思います。

にはいかないのが現実です。また、その贈答用でさえ、現在課題を抱えています。贈答用の多くは「ふじ」に依存しているようなところがあり、実際にこの「ふじ」ほど収入に結びつかないものはありません。良いところと悪いところの格差が非常に大きいこと。コストも他品種と比較し多くかかるためです。実際に、労賃を始めとする経営効率の高い中生種や早生種で「ふじ」と同じ値段をとることができれば、収入のアップにつながるはずなのです。

菅井 “無袋ふじ”で名を馳せてきたとは言え、あまりにも“ふじ”という品種に頭を置きすぎるのではないのでしょうか。
三浦 贈答用は「ふじ」にして、中生種と早生種である程度の値段をとれるような品種に切り替えていくことが必要なのかもしれませんね。

菅井 “ふじ”の量が少なくなれば、それだけ手もかけられるわけだし、品質だつて逆にながって来るはずですよ。
司会 “無袋ふじ”のように町のメインとなるものは、それはそれで町の顔としてだけに

とどめて、実際には中生種や早生種で高い収入あるいは知名度を得るという形にしているか、これからは生き残っていないといけないというのが現実なのかもしれません。

中生種を核とした品種の

三浦 その際の核となる品種が、中生種の主力品種として、町が全力を挙げて推進してい

る。シナノスイートです。それに「山園A-1」が加わることで、これらを生産種の核として品種更新などを進めていかざるを得ないのではないのでしょうか。

司会 「シナノスイート」の価格はどう推移していますか。

三浦 一昨年は一箱四千円だったものが、今年は平たく言うところ千円ほど値を下げています。着色が悪かったのが理由のようです。出荷の時期も若干早かったのかなという気がして

いますが、市場の流れからすると、需要期（＝体育の日の前の時期）に売っていかないという実状もあるようです。

菅井 各個選組合（＝町センターりんご組合を除く6つの果樹組合）からすれば、実はこのことに疑問を感じていました。この時期であれば熟度や糖度の進み具合は間違いな

のだけで出荷しなければならぬという方には、生産者として着いていけない部分があるはず。産地の違いで早く収穫できたところとできなかったところの差が、去年の場合とても大きかったはず。

これが尾を引き、シナノスイートにまで飛び火するのではと心配しています。長野でもだいたい生産量が増えてきているようだし、それ以上に青森がすごい脅威になってくると思います。それだけ魅力のある品種なのです。

志藤 出荷時期の遅い青森が伸びてくれば、その分山形の販売期間にも影響がでてくるわけだし、「シナノスイート」の持ちは二週間程度ですから、その品種として生きる期間が狭くなるわけです。

菅井 新品種の「山園A-1」も出てくるわけですが、必要なのは、その次の戦略を今の時点で講じておかなければならないということです。特に朝日町のりんごに関しては、長野と青森の「隙間産業」みたいなもので、入り込むべきところにきちんと入り込まなければなりません。それに遅

れるということは致命的なこと。です。

司会 長野や青森は生産量が一気に増えるので、情報が入りしだい早め早めに試作し、いける！となればいくらかでも出荷するという、常に攻めの姿勢が必要ですね。

三浦 他県でもいろんな品種を開発しているようです。中でも「山園A-1」はだいたい注目されている有望な品種。苗木の本数も昨年から今年にかけてある程度入ったし、これらを核にして中生種を持つていければと思います。



町役場産業振興課主査兼農政係長 三浦 浩一

司会 これからは中生種の方にもっと力を入れていくべきという話になっていますが、センターとしてはいかがですか。

佐藤 同じように中生種に力を入れていくという流れはあります。先ほどあったふじが多すぎるのではということについても同感です。



町産蜜入りりんご 台湾市場での評価も上々 ブランドの確立で海外市場を確かなものに！

台湾輸出は今年で2回目。今年は、台湾の高級百貨店に卸しているバイヤーに販売することができました。うまくいったのは、台湾市場を通さず高級百貨店に卸すことができたということです。一般消費者の反応もたいへん良く、青森産りんごとは全く違う「蜜入りりんご」として、しだいに認識されてきています。

今後は、3年間固定でもいいので1箱6,000円で必ず買ってもらうという「値決め」で交渉していきたいと思っています。その際、国内で販売する値段よりも安い価格で売るつもりはありません。少しでも高い値段で買っていただき、現地で朝日町ブランドを確立してもらおうと考えています。

産業振興課主査兼農政係長 三浦 浩一

消費者が望むのは“朝日町”のりんご 今こそ生産者が一枚岩に！



東京青果(株)果実第1事業部
課長補佐 平子達也 さん

当市場にとって山形県朝日町は、昭和40年代後半のスターキング全盛の時代から、昭和50年代の無袋ふじの黎明期から発展期に至るまで、常に全国を代表するりんご産地の位置付けでした。

しかし、バブル景気崩壊以降は、産地や市場を取り巻く様々な社会的状況の変化と温暖化などによる気象条件の変化などで御地でも生産量が減少し、またそれ以上に当市場の入荷が減少傾向にあります。かつて「朝日町信者」と言われた場内仲卸15社も、この現状を大変憂えています。

ただ、この現状を憂えているばかりではありません。ここ数年の朝日町の新しい息吹に大きな期待を寄せています。例えば、シナノスイートの入荷時は「朝日町信者」が再集結した感が出てきました。つがるについても年々着系の比率があがり、この品物ならばと商材としての関心が高まっています。今後、朝日町を中心とした山形からでる新中生種にも期待をしているところです。

こうした期待感を、朝日町りんご産業の発展として実を結ぶよう努めるのが、我々市場の使命であります。それに全力をあげていくためにも朝日町に対していくつか要望があります。

まずは、ある程度のロット（数量）の確保をお願いしたい。かつては早生種のスタートから晩生種の終了まで、当市場に朝日町のりんごが途絶えるこ

とがありませんでした。しかし、最近では切れ目ができています。これは、少しでも売り場を確保したい競合産地に絶好のチャンスを与えてしまっていることになるのです。最近では市場取引もせり取引から相対による契約取引に比重が移っています。しかし、これを有利に進めるには、できるだけ正確な情報とそれにもとづく継続的な出荷が必要不可欠です。そのためにも早生種から晩生種に至るまでの継続的なリレー出荷体制を再構築していただきたい。また、それが「朝日町」というブランドの強化につながるものと思います。

ブランド化についてさらにいうならば、市場からみていると、より消費者にアピールしていくためにも、町内のりんご生産者がもっと団結する時期がきているのではないだろうかと感じます。今盛んに地域おこしなどの言葉を耳にしますが、まず町内の基幹作物であるりんごについて、今後そのブランドをいかに高めるか、生産者が一丸となって考えるべきです。町内には複数の出荷団体や個人出荷者がいるかと思いますが、消費者（特に県外の）からみれば全て「朝日町のりんご」なのです。そのような意味から、町全体で今一度、ブランドの再構築をどうするか考えて行動してほしいと思います。

当市場としても、全国を代表するりんご産地の要として大変期待しています。また、我々もその使命として、朝日町がさらに消費者に選ばれる産地になるよう貢献していきたい考えです。

司会 市場価格との兼ね合いもあり、センターへの出荷時期が一般的に早すぎることに對し、生産者として要望や意見が出されたりすることはな

いのでしょうか。
佐藤 それはあります。色も着かないものを収穫しなければならぬわけですからね。ですが、それに確かな値が付

くというのも事実なのです。
三浦 そういったジレンマは、「市場へは品質のいいものを出荷したい。しかし、高収入を得るには贈答用が中心にな

らざるを得ない」という、贈答用の場合と同じことが言えますね。
司会 何より、消費者がどう捉えるかということだと思います。

ます。消費者の声を聞く際、個選組合の場合だと、出荷後二三日で消費者の反応が直に返ってきます。センターの場合、どうしてもその把握が遅くなってしまうということはありませんか。

佐藤 菌がゆいところは確かにありますね。出す人は出してしまえばあとは終わりという感じなのだと思います。消費者の反応についても、やはり生産者のところまでは直接来ませんからね。気になって

いることはありません。
阿部 やはり、直接購入いただいたお客さんからは、「こんな美味しいうりんご食べたことがない！」と言われました。仙台市内の百貨店などによく、こちらでジュースにするようなりんごが一個百円もするんです。それを食した人は、やはり次回は買わなくなるだろうなと思います。

特別のこだわりと 安心安全の付加価値

司会 特別栽培農家の認定を受けている菅井さん。認定を

朝日町豪雪対策本部設置(12月26日)

雪対策補正予算3,050万円の追加を臨時議会(1月19日)で可決



昨年12月10日から連日にわたり降り続いた雪で、全国的に記録的な大雪に見舞われた今シーズン。住民の生活にたいへんな支障を及ぼす恐れが出てきたとして12月26日午前8時45分、「朝日町豪雪対策本部（本部長＝町長）」が設置されました。町が所有している21台の除雪車両をフルに稼働させ、主要な幹線道路は午前7時30分までに作業を終了させるなど、町民の意に添えるような除排雪作業を実施しています。

その結果、除排雪費の予算執行率が例年になく進み、この時期としては異例の増額補正予算案が1月19日の臨時議会に上程、可決されました。歳入歳出それぞれに3,050万円を追加し予算総額42億8,540万円とするもので、内除排雪費は9,270万円になります。増額に必要な財源には全額地方交付税が充てられます。

また、自力で除雪ができず、しかも親族や近隣者等の援助を受けることのできない方へは「気配り除雪」を実施。対象者自宅前の路線を除雪する際、なるべく入口前には除雪の雪を置かないように気配りをしています。

なお、降り始めからの積雪量の累計は、2月10日現在、宮宿で716センチ（対前年比288センチの

高齢者世帯等の雪下ろしや除雪にかかる費用の一部を助成します。

◎利用対象者

町内に居住（施設入所者を除きます）している方で、次の全ての条件を満たす方。ただし、生活保護を受けている方の雪下ろしについては、別途支給される制度（別に申請が必要です）がありますので、対象からは外れます。

条件1 雪下ろしや除雪が自力でできず、しかも親族や近隣者等の援助を受けることのできない、65歳以上の高齢者並びに心身障害者の方

条件2 所得税が非課税の世帯

条件3 県内に扶養義務者（子）がいない方

※条件3は雪下ろしの場合のみ必要な条件

◎助成の対象となる限度額

・雪下ろし（居宅のみ）

1時間 1,500円

1回（8時間）12,000円

例年2回まで→3回まで【支援を拡大】

・除雪

1日 1,000円（回数に制限なし）

※上記金額の90%を町が事業者に直接支払います。残りの10%と当該限度額を超えた部分の合計金額が利用者の負担となります。

増）、立木で744センチ（同133センチの増）となっています。

問い合わせ

各種助成(福祉分野)に関すること

健康福祉課福祉係 ☎67-2116

各種助成(農林分野)に関すること

産業振興課事業係 ☎67-2114

町道路線等の除雪に関すること

建設水道課管理係 ☎67-2115

由布院観光総合事務所の米田誠司氏が講演(1月21日／創遊館)

NHK朝の連続テレビ小説「風のハルカ」の舞台である大分県由布市湯布院町で、地元観光事務所の事務局長を務める米田誠司氏のまちづくり講演会が1月21日、創遊館ホールで開催されました。町内外から約400人が参加。『地域資源を活かした由布院温泉のまちづくり』という演題で講演した米田氏は、「住んでいる地域に誇りを持てるかどうかポイント。観光地というより人を訪ねに来てもらう施策の展開が必要」と語りました。



講演する米田誠司氏

100歳以上の長寿者と米寿者に賀詞贈る

町内に在住する長寿者（100歳以上）9人と米寿者（88歳）57人に1月13日（明鏡荘は1月5日）、町から長寿を祝福する賀詞と記念品が贈られました。

ふれあい荘を訪れた鈴木町長は、「みなさんから健康でいてもらえることが、私たち後輩にとってたいへんな勇気につながります」と語り、該当者一人ひとりに優しく声をかけました。

なお、長寿者及び米寿を迎えられた方は次のみなさんです。

▼長寿（100歳以上）者 男3人 女6人 計9人

清野たけよ・清野権藏（以上四ノ沢）、菅井よつ（沼向）、佐藤ちゅう・樋口はるみ（以上ふれあい荘）、佐竹ひて（夏草）、白田常松（大谷六）、田澤高治・村山なを（以上明鏡荘）順不同・敬称略

▼米寿（88歳）者（大正8年1月1日から同年12月31日までに生まれた方） 男19人 女38人 計57人

鈴木コウ（本町）、白田ハルヨ・佐竹良子（以上西町）、多田あつ子（栄町）、鈴木てる（大町）、長岡かつよ・清野ミツノ・鈴木隆治（以上元町）、阿部マスエ（西原）、今井くによ（前田沢）、小関絹（新宿）、清野ひで（四ノ沢）、佐藤きよ子（宿）、菅井定光・菅井雅子（以上沼向）、長岡とめ（緑町）、渡邊おせん（古槇）、渡邊祐治（下芦沢）、柴田きみ子（大滝）、齋藤ちよ・鈴木てる・大谷惣左エ門・志藤はな・阿部とゑ・白田はな江（以上ふれあい荘）阿部益子・阿部をみち・松野さつゑ・長岡鉄夫（以上常盤）、鈴木政治・大井信雄（以上西船渡）鈴木すき・長岡ユキ（以上高田）、阿部武助（立木）、佐竹ナカ・佐竹正一・阿部サトエ・鈴木たけの・鈴木竹志（以上松程）、鈴木庄司・佐藤金三郎（以上大船木）兼子晃子（大谷一）、八萩たけ（大谷三）、白田よし（大谷五）、志藤すみゑ・小野瑛（大谷六）、五十嵐辰雄（中沢）、遠藤きくゑ（真中）、堀政一（舟渡）、阿部満雄（大暮山）、白田さたゑ・白田吉太（以上大沼）、飯野春治・齋藤照治・菊地金三・東海林サダエ・安食はなよ（以上明鏡荘）

順不同・敬称略



若きエネルギー 大空へジャンプ

豆まきの節分も終わり、立春も過ぎ、季節の上ではもう春なのに、今年の冬はまだ豪雪が続くかのような気象状況です。

一月八日から十一日まで、朝日自然観YTS杯スノーボード大会が開催されました。大会初日は天候にも恵まれましたが、

二日目は吹雪模様で、アマチュアの部決勝に出場の選手の皆さんには、大変苦労をされたのではと心配したところでした。ハーフパイプを滑り降りながら果敢にジャンプし、空中回転し、そしてひねりを交えたりと難易度の高い技にチャレンジしていく若い選手皆さんの姿に、心から拍手を送りたい気持ちで一杯でした。同日、翌日から始まるプロの部に

参加する選手の皆さんを迎え、ホテル自然観で歓迎ミーティングが行われました。全国各地から、そして遠くはカナダの方も含め男女合わせて七十一名の選手がエントリー。歓迎の挨拶のあと産業振興課長より、町からのプレゼンツの紹介がありました。朝日町ワインの小瓶、当町産日本一のふじのりんごジュース、そしてオーソトリッチの加工肉。一つひ

現在進行形 平成のRINGO PJ (vol.3)

豚肉やダチョウ肉等の食肉加工技術の習得のため、岩手県一関市の(有)一関ミートへ12月から1人、1月から新たに1人を1年間派遣しています。一関ミートは、ハム・ソーセージ等の食肉加工において優れた技術を持ち、全国から受け入れを行っている派遣生は、地域に帰ってそれぞれ活躍をしています。

派遣先の社長さんは「頭では覚えられない。体で覚えないと身につかない。急がず騒がず毎日の積み重ねが体得の根本である」と言っています。派遣している2人も、掃除、洗い物と食肉加工の基本となる清掃・清潔から始めています。



一時帰郷し試作品の試食会を行う派遣生 (11月30日)

朝日町長 鈴木浩幸

公表します

町職員の給与と定員の管理

1 人件費の状況（平成16年度一般会計決算）

区 分	住民基本台帳人口 (17,331現在)	歳 出 額 (A) 千円	実質収支 千円	人 件 費 (B) 千円	人件費比率 (B/A)	15年度の 人件費率
平成16年度	8,901人	4,454,313	130,484	1,192,246	26.8%	27.2%

※人件費には、特別職に支給される給料、報酬等を含みます。

2 職員給与費の状況（平成17年度一般会計予算）

区 分	職 員 数 A (人)	給 与 費				一人あたり給与費 (B/A) 千円
		給料(千円)	職員手当(千円)	期末・勤勉手当(千円)	計 B(千円)	
平成16年度	127	528,582	50,434	212,397	791,413	6,232

※職員手当には、退職手当を含みません。

3 職員の平均給料月額と平均年齢（平成17年4月1日現在）

区 分	一 般 行 政 職		技 能 労 務 職	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
朝日町	352,100円	44歳 5月	328,900円	45歳 6月

4 職員の初任給の状況（平成17年4月1日現在）

区 分		朝 日 町		国	
		初 任 給	採用2年経過	初 任 給	採用2年経過
一般行政職	大学卒	170,700円	184,400円	I 種 184,400円	198,600円
	高校卒	138,800円	148,500円	II 種 170,700円	184,400円
技能労務職	高校卒	134,700円	144,100円	138,800円	148,500円
	高校卒	134,700円	144,100円	136,000円	145,500円

5 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（平成17年4月1日現在）

区 分		経験年数10～15年	経験年数20～25年	経験年数30～35年
一般行政職	大学卒	293,600円	392,800円	434,000円
	高校卒	238,600円	353,300円	411,100円
技能労務職	高校卒	232,000円	316,000円	—

6 特別職の報酬などの状況（平成17年4月1日現在）

区 分	月 額	区 分	平成17年度支給割合
給 料	町 長 820,000円 (735,000円)	期末手当	町 長 6 月期 1.6月分
	助 役 635,000円 (600,000円)		助 役 12月期 1.7月分
	教育長 585,000円 (550,000円)		計 3.3月分
報 酬	議 長 310,000円 (300,000円)		議 長 6 月期 1.6月分
	副議長 250,000円 (242,000円)		副議長 12月期 1.7月分
	議 員 235,000円 (228,000円)		計 3.3月分

※給料月額については、平成15年4月1日より（ ）内の額を支給しています。

7 職員手当での状況（平成17年4月1日現在）

区 分	朝 日 町		国	
期末手当 勤勉手当	6 月期	1.40月分	6 月期	1.40月分
	12月期	0.70月分	12月期	0.70月分
	計	3.00月分	計	3.00月分
	職制上の職務の級等による加算措置 有		職制上の職務の級等による加算措置 有	

朝日町職員の給与等のあらましをお知らせします。
町職員の給与は、国家公務員の給与水準を基本に民間事業従事者等の給与と比較し、町議会の審議を経て町条例で定められているものです。
平成16年度は、特別職の給料の減額、管理職手当を20%減額し給与の抑制を図っています。
なお、平成17年度についても、特別職の給料の減額、管理職手当の減額を継続していますが、なお一層の行財政改革への取り組みと、行政サービスの向上に務めていきます。



8 退職手当（平成17年4月1日現在）

区 分		朝 日 町		国	
		自己都合	勧奨・定年	自己都合	勧奨・定年
支給率	勤続20年	21.00月分	27.30月分	21.00月分	27.30月分
	勤続25年	33.75月分	42.12月分	33.75月分	42.12月分
	勤続35年	47.50月分	59.28月分	47.50月分	59.28月分
	最高限度額	59.28月分	59.28月分	59.28月分	59.28月分
その他の加算措置		定年前早期退職特例措置（2%～20%加算）		定年前早期退職特例措置（2%～20%加算）	
退職時の特別昇給					
1人当たり平均支給額		22,278千円			

※退職手当の1人当たりの平均支給額は、平成16年度に退職した職員に支給された平均額です。

11 部門別職員数の状況（各年4月1日現在）

部 門	職員数		増減数	主な増減理由
	17年	16年		
一般行政部門	議 会	2	2	0
	総 務	28	26	2
	税 務	7	8	△ 1
	農林水産	10	13	△ 3
	商 工	4	4	0
	土 木	7	9	△ 2
	民 生	24	26	△ 2
	衛 生	8	9	△ 1
	小計	90	97	△ 7
特別行政部門	教 育	29	32	△ 3
	消 防	—	—	—
	小計	29	32	△ 3
公営企業部門	病 院	50	49	1
	水 道	4	4	0
	そ の 他	7	7	0
	小計	61	60	1
合 計	180	189	△ 9	

※職員数は、一般職に属する職員数で地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員等を含み臨時又は非常勤職員を除いています。

9 その他の手当（平成17年4月1日現在）

区 分	内 容
扶養手当	配偶者13,500円/月、一般の扶養親族のうち2人まで6,000円（職員に扶養親族でない配偶者がある場合のうち1人のみ6,500円、職員に配偶者がいない場合のうち1人のみ11,000円）、その他1人につき5,000円 扶養親族たる子のうち満16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子につき5,000円加算。
住居手当	借 家 限度額 27,000円 持 家 新築、購入 3,000円/月
通勤手当	交通機関利用 限度額 55,000円 交通用具使用 限度額 20,900円

10 時間外勤務手当

平成16年度	支 給 総 額	26,982千円
	職員1人当たりの支給年額	160,607円
平成15年度	支 給 総 額	28,492千円
	職員1人当たりの支給年額	167,590円

- ※1. 支給総額は、全職種に係る職員に支給されたものです。
2. 選挙に係る時間外勤務手当を含んでいます。

12 一般行政職の級別職員数の状況（平成17年4月1日現在）

区 分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	計
標準的な職務内容	主事補技師補	主 事 師	主 事 師	主 任	係 長	課長補佐主査	課 長 補佐	課 長	—
職 員 数	0人	5人	11人	13人	6人	25人	16人	3人	79人
構 成 比	0.0%	6.3%	13.9%	16.5%	7.6%	31.6%	20.3%	3.8%	100.0%
1年前の構成比	1.1%	7.0%	14.0%	11.6%	9.3%	28.0%	22.0%	7.0%	100.0%

- ※1. 町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。
2. 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。

13 定員管理計画の状況（平成17年4月1日現在）

年 度	職 員 数 (人)				定数比 (198人)
	町部局等	病 院	水 道	計	
17年度	126	50	4	180	△ 18
18年度	120	50	3	173	△ 25
19年度	119	50	3	172	△ 26
20年度	115	50	3	168	△ 30
21年度	112	50	3	165	△ 33





救命救急普及員養成講習会
(1月29日～5日間)

まちの話題



ランタンでお迎え おさいとう
二渡観音前(1月15日)

①創遊館開館5周年記念「野村万蔵の会狂言公演」(1月22日／創遊館ホール)

理解しやすい解説付き 洗練された笑いの古典芸能を楽しむ

昨年(2019年)の1月、九世野村万蔵を襲名して以来県内初公演となる「野村万蔵の会」狂言公演が1月22日、創遊館ホールで開催されました。創遊館が開館し5周年を迎えることを記念し、町の教育委員会が主催したもの。会場が満員となる約400人の観客が、古くから伝わる笑いの文化を楽しみました。

野村氏ほか3人の狂言師がこの日演じたのは、「梟山伏」と「盆山」の2演目。会を主宰する野村氏は、狂言の楽しみ方やこれから演じる芝居の内容を事前に解説。また、「【野村氏】太郎冠者 あるか〜(太郎さんはどこにいますか)」「【観客】はあ〜っ!(はい!ここにいます)」「【野村氏】いたか(そこにいたのか)」「【観客】御前に(あなたの前にいます)」



実際に狂言を体験する観客たち

と、実際に狂言によるやり取りを体験した観客は、より深く狂言の世界に入り込み、会場内には終始笑い声が絶えませんでした。

狂言は今回で3回目という堀いくさん(舟渡)は、「過去の2回とは異なり、上演の前に説明があつてとても良かった」と話してくれました。



山伏を演じる野村万蔵氏(右)

狂言とは?
冗談や洒落を本意とする笑いを全面に押し出したお芝居で、想像力を豊かにさせながら楽しむ洗練された古典芸能。
今から六〇〇年ほど前の室町時代後期。幽玄な歌舞劇である「能」と共に歴史を刻んでいる。

まめ知識

②ふれあい荘に善意(2月8日／ふれあい荘)

朝日中生徒会から「車椅子」 愛は地球を救うから「リフト付きバス」

2月8日、朝日中学校の菅井達也会長ら生徒会役員4人がふれあい荘を訪れ、これまで数年に渡り生徒会活動として取り組んできたアルミ缶回収で新しく再生された車椅子1台を、同施設の保利貞雄理事長に手渡しました。



中央が菅井達也朝日中生徒会長

また、日本テレビ系列「愛は地球を救う」からは、デイサービスやショートステイの利用者を送迎するリフト付きバス1台が贈られました。同種の車両としてはこれが6台目の配備。排気量が3,000ccの大型ワゴンで、車椅子専用2人分を含む7人までが送迎可能です。



③スノーボードプロツアー朝日自然観YTS杯(2月8～11日／自然観スノーパーク)



空中で繰り広げられるダイナミックなパフォーマンス

ストレートジャンプ

S Jで地元の渡辺選手が3位に

全国からプロ、アマ総勢160人が出場したスノーボードプロツアー朝日自然観YTS杯が、2月8日から4日間の日程で開催されました。JSBA(日本スノーボード協会)が公認する大会で、上位大会への出場権を獲得するためのポイントが得られるほか、エキジビジョン(公開競技)のストレートジャンプ(SJ)とハーフパイプ(HP)の2競技で総額116万円の賞金が得られるとあって、元オリンピック日本代表選手や遠くはカナダの選手もエントリー。これだけの大きな大会が当

町で開催されるのは初めての事です。

中でも、全長100メートル、幅17メートル、高さ3.5メートル、斜度16度に設置されたHPは、空中に飛び出した時のダイナミックなパフォーマンスで得点を競うもの。パイプに果敢に挑む選手たちの迫力ある演技が、観衆を沸かせていました。



なお、SJに予選から出場した渡辺恭介選手(大谷二・写真左)が、決勝でみごと3位に輝きました。

TV放送決定!!

地上波放送 YTS山形テレビ
2/26(sun) 25:20-25:50
衛星放送 スカイA TV
3/9(wed) 21:30-22:00

⑥史跡や神社をカルタで表現 (2月2日／わかば保育園)



思い出の場所を絵札に

平成16年から2年間にわたり、わかば保育園の園児たちが地元の歴史について学んだ「ちびっこ探検隊」。講師を務めている堀敬太郎さん(大谷一)指導の下に、これまで14回にわたる活動で史跡や神社など18箇所を巡り、記録に残してきました。

堀さんの提案でこのたび、園児たちが絵札を、堀さんが短歌風の読み札を担当し、縦約30センチ横約25センチのカルタ18枚を完成させました。

⑤白鳥の餌贈る (1月13日／上郷ダム)



斎藤さん(左)に餌を手渡す高橋さん

善意が続いて17年

東北電力山形技術センター(山形市)の所員10人が1月13日、上郷ダムに飛来している白鳥に毎日餌付けをしている斎藤長吉さん(大滝)宅を訪れ、くず米(30キログラム×50袋)とパンの耳(10キログラム×36袋)を贈りました。平成2年から継続して行われているものです。

「社内に募金を呼びかけたところ、昨年を上回る金額が集まりました」と笑顔で語る同センター土木課主査の高橋義仁さん。

④商売繁盛祈願祭 (1月6日／開発センター)



3人の山伏によるご祈禱

景気の回復を願う

町商工会(浅岡清二会長)が主催する新春商売繁盛祈願祭が1月6日、関係者ら約60人が参列し、開発センターホールで開催されました。

出羽三山神社の山伏3人が、ホラ貝の音とともに入場。神事後、各界を代表し7人が神前に玉串を捧げ、今年の商売繁盛や交通安全を祈願。浅岡会長は、「幸せいっぱい景気がみなさんの手元にやってくることを願っています」とあいさつしました。

⑦IQサプリで宝カルタ大会 (1月14日／創遊館)



1枚の絵札をかけて勝負！

中学生が選んだ町の宝ものカルタ（1組55枚で縦42.0センチ×横29.8センチの特製品）を利用した「IQサプリで宝カルタ大会」が1月14日、創遊館の和室で開催されました。NPO法人朝日町エコミュージアム協会（長岡信悦理事長）が主催し毎年この時期に開催

しているもの。7回目を迎える今大会には町内の小学生15人が参加しました。

それぞれの絵札に対し読み手が3つのヒントを出し、そのうち2回のヒントを聞き終えた直後に絵札を取るという新ルールを採用。息詰まる競技の結果、宮宿小5年の柴田明日香さん（元町）が今大会を制しました。

⑧ドキドキ探検隊 (1月28日／秋葉山交遊館)



雪中キャンプに挑戦

秋葉山交遊館周辺を会場に、1月28日から1泊2日の日程で「雪中キャンプ」が開催。北部公民館が主催する「ドキドキ探検隊」の行事の一つで、今回が3回目になります。

冬の寒さや厳しい自然をあえて楽しむ心を培う目的で、大谷小学校の4年生から6年生まで25人と、

同探検隊を経験してきた中学生7人が参加。五十嵐義行さん（中沢）を隊長とする達人倶楽部が寒さ対策などの指導に当たりました。

シュラフにくるまりテント内に1泊するだけでも厳しいプログラム。参加者たちは班ごとに協力し合いながらテントを組み立てたほか、晩ご飯のハンバーグカレーづくり、キャンプファイヤーなどを楽しみました。

⑩高齢者福祉大会 (2月10日／団地センター)



大泉逸郎さんも熱唱

「寝たきりゼロをめざして」をテーマにした町高齢者福祉大会が2月10日、農業団地センターホールで開催されました。会場を埋め尽くす程集まった高齢者は約470人。大会では、町長寿クラブ連合会（鈴木治郎会長）の役員として長年務められた方などが表彰を受けました。

芸能発表会では、大泉逸郎さんが突然のゲストとして登場し歌3曲を熱唱。会場を驚きと笑顔の渦に包み込んでいました。

⑩地産地消Ⅱ (2月6,10日／開発センター)



趣味噌づくりに挑戦

安心安全な地場産作物の消費拡大を図ろうと、町地産地消推進協議会（会長＝町産業振興課長）が主催する「味噌づくり講習会」が2月6日と10日の両日、開発センター調理室で開催。町内の主婦ら14人が参加しました。

町内の農産加工グループ「ひめさゆり会（五十嵐美恵子代表）」指導の下、持ち寄ったくず米や古米を蒸し麴菌を混ぜ合わせ味噌づくり。これが大豆に仕込まれ、半年後には味噌が完成します。

⑨地産地消Ⅰ (1月20,27日／町内小学校)



ダチョウ肉を味わう

食に対する感謝の心を育てる「心を育む給食週間」に合わせて、町特産のダチョウ肉を使った給食が1月20、27日の両日、町内の小学校で実施されました。

ボイルされたウインナーを味わったのは西五百川小。地元の食材を使用した安心安全な献立であることが校内放送で伝えられると、同校6年の阿部良輝くん（ハツ沼）は、「脂っこくなくてとてもおいしいです」と笑顔で話してくれました。

まちの話題②

⑬神風船まつり(2月11日／創遊館)

舞い上がる風船に願いを込めて

神風船まつりが2月11日、創遊館芝生広場で開催されました。何らかの冬のイベントを企画し地域の活性化につなげてみようと、町商工会青年部(阿部安彦部長)が主催し、毎年この時期に実施しているもので今回が3回目。一目見ようと、会場には多くの町民らが詰めかけました。

参加者が願いを込めて製作した“紙風船”に熱風を吹き込み、事前に採火しておいた朝日岳の御神火を点火すると、夜空に高く舞い上がる“神風船”に変わる。うまく上がれば願いごとがかなうというもの。

町内外から集まった9つの神風船。商売繁盛を願う同青年部員たちの手によって点火されると、オレンジ色の光を放ちゆらゆらと舞い上がっていました。



⑫スノーランタンの森づくり

(1月28日／朝日自然観)

幻想的な雪と光の芸術に感動

ハチ蜜の森キャンドル(安藤竜二代表)が主催する「スノーランタンの森づくり」が1月28日、朝日自然観コテ



ジ村周辺の雑木林で開催されました。今回で11回目を迎える冬の風物詩に、町内外から親子連れなど約40人が参加しました。

空気神社参道脇のブナ林の中に大小20基余りのスノーランタンが完成。蜜ろうそくのやわらかな炎が参加者たちの手でランタンに灯されると、辺りは一瞬にして幻想的な雰囲気に包まれました。

初めて参加したという小川真美さん(大町)は、「雪の城をイメージして造ってみました。ランタンからこぼれる蜜ろうそくの灯りが予想した以上に綺麗で感動しています」と話してくれました。

⑭陸上自衛隊第6音楽隊による「ゆきんこコンサート」(2月4日／創遊館)



心に響く交響楽によいしれる

陸上自衛隊第6音楽隊による「ゆきんこコンサート」が2月4日、創遊館ホールで開催されました。会場には子どもからお年寄りまで約400人が詰めかけ、2等陸尉水木勝行隊長指揮の下に奏でられる心に響く交響楽を楽しみました。

朝日自然観のテーマソング

でお馴染みの「北のハートピア」をはじめ、昔懐かしい「ウルトラマンメドレー」「坂本九メモリアルソング」などが約1時間半にわたり演奏。訪れた観客らを魅了していました。中には、思い出のあまり思わず小声で口ずさむ人もいました。

“村山学” 第1号 東北文化研究センター発刊

村山地方の暮らしや文化を掘り起こす地域誌「村山学」が東北芸術工科大学東北文化研究センターから発刊されています。その創刊号が、朝日町の特集で、言わば「朝日町学」。朝日連峰のふもと朝日町で、自然とともに生きる人々の姿を映し出しています。

「実験住居学」「詩的な場所」「夭折の詩人 海野秋芳」と三つの特集で編集されており、特に第三部は、一昨年開催された海野秋芳シンポジウ

ムの概要をはじめ、朝日町の青年文学活動や県下の詩運動、日本文壇の状況などについても言及しており、貴重な資料と言えます。朝日中学校の生徒の感想文も記載されています。

1冊1,500円。教育文化課で頒布中。ぜひ一家に1冊お買い求めください。



問合せ 教育文化課文化振興係 ☎67-2118

みんな の ひろば



全日本チアダンス選手権大会 高校生ポンポン部門優勝（二連覇）



山形北高等学校チアリーダー部

B☆SPARKY

部長 白田美咲さん(大谷一)

今★輝いて

十一月十九、二十日の両日、第五回全日本チアダンス選手権大会が行われ、山形北高チアリーダー部が、高校生ポンポン部門でみごと優勝、二連覇を果たしました。そして、この部長を務めているのが白田美咲さんです。

チアダンスとは、三十人以上の大人数で、音楽に合わせてダイナミックに踊ること。ポンポン部門では、ポンポンを綺麗に見せることや、高校生らしくさわやかに演じることも重要なポイントだそうです。優勝を決めた時の気持ちを美咲さんは、「自分たちらしい演技をしよう」とみんなが決めていたので、その思いが通じてうれしかった」と話してくれました。

アダンスの経験が全くなかったという美咲さん。「先輩たちのように踊れるのだろうか」「入部当時の不安だった気持ちをこう振り替わりながら、それでも、基礎の練習から始め少しずつチアダンスのことが分かってきたと同時に、舞台上で演じることへの魅力にとりつかれてしまっているとのことでした。

「チアダンスが一番大変なことは、みんなの心を一つにすること。動きを合わせるために、みんなで何度も繰り返し練習します。鏡の前で、動きや顔の表情などを確認したり、思い付いたかのように突然足を止めて確認したり。こんなに練習しても、みんなの心がバラバラではまともなりません。みんなの心が一つになった時、本当の満足が得られるし、とても感動します。踊っていてとても楽しいです」



各種大会の成績

(○内数字は順位)

■第34回西村山地区卓球大会

(1月28日) 河北町民体育館

▽カブ(小学4年生以下) 男子S(11)

シングルス ①遠藤幹士(舟渡) ▽

同女子S ①阿部果歩(常盤) ▽バ

ンビ(小学2年生以下) 男子S ③長

岡翼(常盤) 阿部篤(常盤) ▽同

女子S ③阿部奈於(常盤)

■第42回町民卓球まつり

(2月5日) 町民体育館

【団体戦】①送橋(清野雅英監督)

②チーム前田沢A(渡辺良監督)

③卓球好きだず(遠藤衛監督)

【個人戦】▽小学男子S(11)シング

ルス ①遠藤幹士(舟渡) ②村山伸

樹(常盤) ③五十公野泰弘(西町)

阿部良輝(八ッ沼) ▽同女子S ①

阿部愛美(常盤) ②阿部果歩(常

盤) ③阿部春姫(常盤) 鈴木遥子

(松程)

▽中学男子S ①志藤由磨(前田沢)

②清野雅博(四ノ沢) ③阿部友樹

(常盤) 渡辺康基(送橋) ▽同女

子S ①阿部智恵(常盤) ②村山奈

津美(常盤) ③荒木美穂(大谷四)

遠藤麗美(栗木沢)

▽オープンダブルス(公式) ①海

野郁巳(西船渡) 若月祐一郎(西

船渡) 組②鈴木晃生(宿) 遠藤幹

士(舟渡) 組③長岡広志(太郎二)

遠藤衛(舟渡) 組・志藤由磨(前

田沢) 阿部友樹(常盤) 組▽同

「ラージ」①志藤克美(前田沢)

成原千枝(前田沢) 組②阿部容一

(夏草) 阿部美佳(夏草) 組③五

十公野龍一(西町) 阿部恵(常盤)

組・柴田美洋子(大町) 渡辺由利

子(緑町) 組



雪道を裸足で駆ける町柔道スポ少の団員たち(1月8日)



太郎三／
大井 真さん
麻里さん



同じ高校だったというものの、友人の紹介で出会ったのはお互い高校を卒業してから。4年半という交際を経て結婚したお二人。

結婚について、真さんは「麻里さんが美容師国家資格を取得するまでは…」という思いがあったそうです。国家試験ともなると、張り詰める緊張感などで精神的に不安定になりがち。「美容師になりたい!」という強い意志で頑張っている麻里さんを一番近くで見てきたからこそ、「そっと見守っているのが“真”の優しさかも…」という時期があったようです。そんな優しさが麻里さんの大きな支えとなりました。

交際中からこれまで、一度もケンカというケンカをしたことがないというお二人。「空気みたいというか…、居心地がいいんです」と穏やかに語る麻里さんに、「一緒にいて落ち着くし…。しっかり者で、口には出さなくても思っていることが通じる感じ」と語る真さん。やはりケンカする必要性が全くない様子で、お互いの息はぴったりです。

何でも話せる家庭、支え合える、思いやりのある家庭にしていきたいというお二人の柔らかな笑顔には、春のような穏やかな暖かさがありません。

今月の新刊

おすすめ本!

最上一平 最新刊
ラッキーセブン



ラッキーセブンは、夏ちゃんがつけてくれたぼくのひみつの名前。よばれるたびにドキドキする。山村のきびしい自然の中に生きる少年の成長物語。

ラッキーセブン

最上一平 著

にんげん

包みこみの発想、百匹目の猿、エゴからエヴァへ、人の道、経営のコツ、長所伸展の法則、ツキを呼ぶコト、未来への処方箋、夢、実現! 人間研究40年の著者がいま原点に戻り「人間の正しいあり方」を記す。

船井 幸雄 著

パパはマイナス50点! 介護ワツを越えて夫、大島渚を支えた10年

小山 明子 著

「ありがとう」を忘れなかった夫が「このバカ女!」と叫ぶ。夫大島渚が脳卒中で倒れて以来、自らもワツに陥りながら介護を続けた夫婦愛の記録。

ぶらんでいつしゅ? 清涼院 流水 著

▼道三堀のさくら(山本一力) ▼パリよ、こんにちは(林 真理子) ▼わくらば日記(朱川湊人) ▼女郎蜘蛛-伊集院大介と幻の友禅-(栗本 薫) ▼天女湯おれん(諸田玲子) ▼官邸主導-小泉純一郎の革命-(清水真人) ▼迷走する家族-戦後家族モデルの形成と解体-(山田昌弘) ▼生協の白石さん(白石昌則) ▼歩いて治すひざの痛み-イラスト版-(黒沢 尚) ▼大奥(鈴木由紀子) ▼夜回り先生こころの授業(水谷 修) ▼悪魔の種子(内田康夫) ▼円満退社(江上 剛) ▼ひょうたん(宇江佐真理) ▼ウィーンの冬(春江一也) ▼いまを生きるから(五木寛之) ▼虹とクロエの物語(星野智幸) ▼エンド・ゲーム(恩田 陸) ▼春朝合わせ鏡(高橋克彦)

みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。

町に対する意見や要望、提案みなさんの周りでの出来事や話題、日ごろ感じていること、イラスト、質問などお待ちしております。

■あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場 政策推進課 地域情報係
(電話：67-2112 ファックス：67-2117)

■Eメール／kikaku@town.asahi.yamagata.jp

■URL／http://www.town.asahi.yamagata.jp

町民の声

ブロードバンドの 早期実現に期待！

ブ ロードバンドの特集記事が、広報あさひまち12月号にありましたが、整備の時期はいつ頃になるのでしょうか。個人としては少しでも早い実現を期待しています。

【匿名希望】

今 回策定したブロードバンド計画書(町のホームページにも詳しく掲載しています)に盛り込まれた課題を、一つひとつ着実に実施していくことが基本ですが、特に光ファイバによる町全域の高速通信網整備については、68局(北部地区)で今もってADSLが使えないことや、都市部との情報格差解消などの必要性から、18年度事業で実施したいと考えています。

なお、町民のみなさんからブロードバンドを体験してもらおうと、ただいま**開発センター**に**テレビ電話を設置**しています。役場と創遊館ではブロードバンドで送信される多チャンネルテレビ(4thMED

IA)も見ることができま。ぜひお試しください。

【政策推進課】

ハッピープランミナシ 中間報告書の内容は？

ハ ッピープランミーティングの中間報告書が提出された記事が、広報あさひまち12月号にありましたが、内容はどのようなものなのでしょうか。また、町ではそれを受けてどのような施策を講じていくのでしょうか。

【匿名希望】

中 間報告書に示されている結婚対策のポイントは、「積極的行動への支援」と「目標達成のための後押し」の二点です。具体的には次のような内容です。

①積極的行動への支援

*自分自身を知り、進むべき方向性をはっきりさせるための相談やアドバイスの紹介やアドバイスの紹介やアドバイス
*出会いの場紹介など関連情報の提供 等々

②目標達成のための後押し

*相談や情報提供によるアドバイス

*コーチング手法などを使つた継続的な後押し 等々

町では、今回の報告に基づいて、今年の四月から具体的なサポートを進めていく予定です。その前段階として昨年の十二月に町内独身者へのアンケート調査を実施しました。

今後の具

体的な実施

に当たって

は、より相

談しやす

しくを作

ていくた

めのアド

バイザー

どもお願

しながら

進めてい

きたと考

えてい

ます。サ

ポート

内容に

少しで

も興味

のある

方、気

軽に

ご

連絡

ハッピープランサポート事務局

(町役場政策推進課内)

Tel 0237-67-2112

E-mail teiju@town.asahi.yamagata.jp

URL http://www.town.asahi.yamagata.jp

開発センター調理室に 瞬間湯沸かし器の設置を



開

発センター調理室の設備の充実、中でも給湯設備の整備に向けた町民の要望に対する町の回答で、事実上困難とする内容の記事が、広報あさひまち11月号にありました。大規模な改修が必要だからという理由のようでしたが、各集落の公民館に取り付けられている瞬間湯沸かし器程度の設置であれば、比較的簡単に取り付けられると、素人なりに思うのですが。また、調理台全部にとまではいなくても、うち二台くらいの設置はできないのでしょうか。

【匿名希望】

給

湯設備の充実に関する切なる要望があったのを受



平成17年(2005年)
■12月1日～12月31日届出



すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
長沼	伊藤 真菜実	女	裕治・美紀
真中	犬飼 陽樹	男	登志樹・明子
常盤	佐竹 来夢	女	俊彦・亜矢
能中	伊藤 穂乃花	女	純・さゆり
元町	長岡 明里	女	達郎・良子



おしあわせに

海野 茂 (栄町)  佐藤 睦 (山形市)



やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
宇津野	阿部 まさあ	惣 壽
大町	長岡 勝見	芳 博
大暮山	長岡 フジエ	和 夫
大隅	鈴木 たかあ	勝太郎
大滝	齋藤 きよ	広 治
立木	阿部 善藏	和 芳
杉山	鈴木 久治	久 和
沼向	佐藤 金治郎	博 行
送橋	海野 定四郎	千代乃
西町	鈴木 ふみ	廣 雄
松原	安藤 千代	昭 義

人口と世帯数

●平成17年12月31日現在
人 口 8,783人(減18人)
男 4,352人(減7人)
女 4,431人(減11人)
世帯数 2,558戸(増減0)
()内 前月比



平成18年(2006年)
■1月1日～1月31日届出



すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
新宿	阿部 秀飛	男	佳孝・明美
宇津野	細谷 慶太郎	男	広行・智美



おしあわせに

阿部 貢 (松 程)  井上 由香 (山形市)



やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
助ノ巻	海野 ハルコ	武 雄
大町	安藤 光男	チヨエ
大谷五	川村 オナヲ	敬 一
古楨	清野 まさ	和 夫
松程	佐竹 とし子	亮 一
四ノ沢	清野 たけよ	清 美
古楨	阿部 秀夫	敏 信
大谷一	白田 繁司	本 人
助ノ巻	布施 政吉	雅 信
沼向	鈴木 きわ	勝 昭
明鏡荘	田澤 高治	本 人
石須部	岸 正雄	トキ子
宇津野	佐竹 洋子	康 志

人口と世帯数

●平成18年1月31日現在
人 口 8,776人(減7人)
男 4,349人(減3人)
女 4,427人(減4人)
世帯数 2,559戸(増1戸)
()内 前月比

お詫びと訂正

平成十七年十二月十五日
発行の広報あさひまち12月号6ページ「自治功労者等表彰式」の記事「善行褒賞」

受賞者の氏名に、次のような誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
【訂正前】鈴木久仁雄さん
【訂正後】鈴木久二雄さん

け、内部で再度検討をさせていただきます。その結果、厳しい予算の中ではありますが、瞬間湯沸かし器一台を設置したところ。です。

また、食生活改善推進協議会（伊藤キエ子会長）のみなさんのご協力をいただき、調理室の清掃・整頓を行いました。調理室がきれいになり使いやすくな

りましたので、どうぞご利用ください。ご提案いただきありがとうございました。

【総務課・健康福祉課】

アイデア貯金箱コンクール

郵政公社東北支社長賞



ねこのちよきんばこ

きよねんの夏休みのしゅくだいで作ったちよきんばこ。「こ
んなの作ってみたいなあ」と絵をかくて、お父さんにそうだん
しました。たいへんだったことは、ねこの形をどうやって作る
うかということです。工夫したのは、あたまから1円・5円・
10円だま、からだから50円・100円・500円だまと、べつべつに入
れることができるようにしたことです。

こんな大きなしゅくだいで、とてもうれしいです。

宮宿小一年 松田 彩音 さん(大町)

春夏秋冬

編集後記

▽自衛隊第6音楽隊の「ゆきんこ
コンサート」。昭和年十代生
まれの人にとってはとても懐かし
い曲が演奏されました。カメラの
ファインダーをのぞき込みながら
ふと気付いたのは、ウルトラマン
メドレーを無意識のうちに口ずさ
んでいた私がそこにいたこと。し
かも、フルコーラス完全に歌えた
こと。小さい時の記憶って忘れる
ことができないものですね。
▽トリノ(イタリヤ)では、雪と
水の祭典「冬季オリンピック」の
真っ最中。自然観スノーパークで
は、スノーボード・ハーフパイプ
の全国大会が開催。J.S.B.A.(日

本スノーボード協会)公認の大会
で、プロボーダーたちが繰り上げ
るダイナミックな技に圧倒されま
した。これ程のクラスのビッグな
大会がここ朝日町で開催できたこ
と。誇りに思います。
▽全国に朝日町を発信する上で、
町民も巻き込んだ全国と名の付く
大会の開催。これを機に、町内外
の人たちが交流できる場がもっと
もっと広がってほしいなあと思
います。

雪景色 アルバムの中

今も変わらず

(はやけん)

